

Instagramを活用した夢アイデア

1 取組（アイデア）概要

これから旅観光を目指す地域に若人を招き、季節や期間を定め、Instagramを使って地域の宝を活かした夢を語ってもらう取組である。

2 具体的な取組イメージ

2-1 対象地域

内なる宝を観光資源として、元気とともに外へ働きかけようとする地域

2-2 取組構図（キャストとスタッフ）

（求め方）夢アイデア作品募集の一企画として、産官学界へ

（主人公）：地域の若者と地域外の若者及び地域住民

（演出者とサポーター）

：自治体、観光支援グループ、地域デザイナーなど

（協力・助演）：地域の宝、景観、天気

2-3 取組手順

(1)事前調査：現地の地域資源を確認する予備体験（地域資源の発掘と発見）

- ・舞台や外的条件の確認と撮影

（潜在する地域資源、好天と悪天、思いがけないインスタ映えする場）

(2)Instagram案づくり

- ・仕入れた題材をもとに地域の魅力を表現したInstagram案づくり（参加者）

(3)現地体験（自治体・協力グループとともに）

①事前調査での推奨コースを観光協会スタッフや地域に詳しい方々とともに合同体験

②コースにおけるお勧めスポットに応じた写真撮影及び投稿をまとめたInstagram作成

③地域で進められている（進められようとしている）活力プランに必要な施設（古民家や廃校舎）の活用可能性調査（休憩所や宿泊）。

④現地で個々のInstagramとポスターによる発表会と次に活かす勉強会

- ・審査員は地元の首長さん、観光協会長、地域出身のInstagramマー、地域デザイナーそして地元の代表（様々なジャンルの女将さん・ご婦人層）

- ・発表会で推奨された方は、自動的に観光誘致の特使の一員となる

- ・地域の地図にInstagramの写真をリンクさせ、どこにどんな魅力があるか、いわゆる“見える化”のお手伝い（観光案内プラン）。

- ・所属する大学や会社の研修・合宿場所としての誘致活動

⑤地域毎に実施した④の集大成としてセミナーの開催

- ・各地域の推奨作を事前審査

～投稿記事とポスターを題材に「いいね」がもらえそうなインスタ映えする広報かどうか、それを活用した“未来に残したいローカル夢アイデア”かがポイント～

- ・毎年の交流会にて審査後の代表作を発表。意見交換後の成果は、建設コンサルタント協会が支援する材料の一部に。

3 お勧めできる点

お勧めできるポイントは、次の2点にある。

◎一瞬で伝わる写真の魅力と地域外の若人の感性・アピール力を引き出すことにより、言葉だけでは伝えにくい地域の宝を観光力に結びつける手軽さにある。

◎誰もが手軽に利用できるツール（インスタグラムの特性）を通して、次を担う若い世代の感覚で発見した魅力を簡単に発信できるため、多くのファンの獲得と知名度向上に役立つ。

【イメージサンプル】

①撮影とアピールポスター作成



②インスタグラムと投稿記事



Redstar___フォローする

#久高島

Redstar___

沖縄の南風原から渡船で15分
父の退職祝いを兼ねて父と子供は走
って、母は自転車で神の島久高島を巡
るユニークな旅の楽しみ方です。

空気、太陽、神々との共存空間が感
じられる別世界な旅プランでした。



③発表会（勉強会）とセミナー



発表会イメージ



セミナー開催イメージ

【発表会】

- 基本、会場は対象地域の公民館等
- 推奨コース単位にまとめられた広報ツール（インスタグラムとポスター）を提案
- 広報を活かした地域の夢物語を発表
- 成果を地域の方や観光関係スタッフに評価してもらう（複数の提案作品を推奨作に仕上げる）
- 付加されるのは見える化、特使と誘客

【セミナー】

- 各地域ごとの推奨作を事前に審査（インスタグラム+ポスター+夢アイデア）
- 夢アイデア交流会の発表の場に「地域づくりセミナー」を加え、代表作を発表し、意見交換→新たな枠組み（参加者に発表者+地域代表者）